

日高市下水道ストックマネジメント計画について

1 概要

ストックマネジメント計画とは、国土交通省が平成 28 年度に創設したストックマネジメント支援制度に基づき策定する、下水道施設全体を対象とした点検・調査及び改築・更新を計画的かつ効率的に管理するための計画です。

ストックマネジメント計画策定にあたっては、設備ごとのリスク評価（影響度、被害規模）、施設管理の目標設定、予算平準化を考慮した改築シナリオを設定し、改築実施計画を策定します。

下水道において重要・優先施設である日高市浄化センターでは、1,646 点の既存設備（ストック）を有しており、それらを適正に保つため平成 31 年 3 月にストックマネジメント計画（第 1 期）を策定し、改築実施計画に基づき設備更新を実施してまいりました。

令和 6 年 3 月をもって第 1 期の計画期間が完了するため、令和 6 年度から令和 10 年度までの第 2 期計画を策定し、国へ提出いたしましたのでご報告いたします。

なお、本計画に基づく改築工事は、国土交通省の社会資本整備総合交付金の対象とすることができません。

2 第 1 期の実績報告

第 1 期の改築実施計画と実績を以下に記します。

改築実施計画		実績
場内中継ポンプ場	ポンプ本体、吐出弁等の改築	未実施
沈砂池ポンプ棟	主ポンプ、送風機の主要部品交換 沈砂、し渣設備の改築	送風機と主ポンプの一部 が実施済み
汚泥濃縮設備	重力濃縮槽の躯体防食と掻寄機の改築	実施済み
汚泥棟	汚泥脱水機及び補機の改築	実施済み
その他	発電設備、計装設備の改築	未実施

第 1 期の実績として未実施の設備もありますが、重要で高価かつ老朽化の激しかった設備については更新することができました。未実施が残った主な原因として、近年の物価上昇に伴い、計画策定時に設定した事業費（取得額の 1.3～1.7 倍）より高額となったことにあります。

更新工事未実施の設備については、単費による修繕（オーバーホール）や消耗品の交換により延命化を図っております。

3 第 2 期の改築実施計画

第 2 期の改築対象設備と概算事業費を以下に記します。

改築実施計画		概算事業費 (百万円)
管理本館	受変電設備の改築	351
沈砂池ポンプ棟	主ポンプ、送風機の主要部品交換 沈砂、し渣設備の改築	1,084
汚泥棟	汚泥濃縮設備及び補機の改築 受変電設備の改築	627
期間合計		2,062

更新工事の事業費をメーカーへのヒアリング等により見直したこともあり、第2期の計画事業は5年間で約20億と非常に高額な計画となっております。これは、既存設備と同等、同様（設置当時の将来予測に基づく設備能力や設備技術）の単純更新の事業費であるためです。

実際の更新工事には、能力の適正なダウンサイジング、新技術の活用、処理の簡易化などにより、事業費の縮減を図ってまいります。